

機関投資家の心をつかむ

企業価値の生命力 = ROIC/WACC を軸にした分析フレームワーク

証券アナリストレポート、中期経営計画作成、統合報告書作成支援のご案内

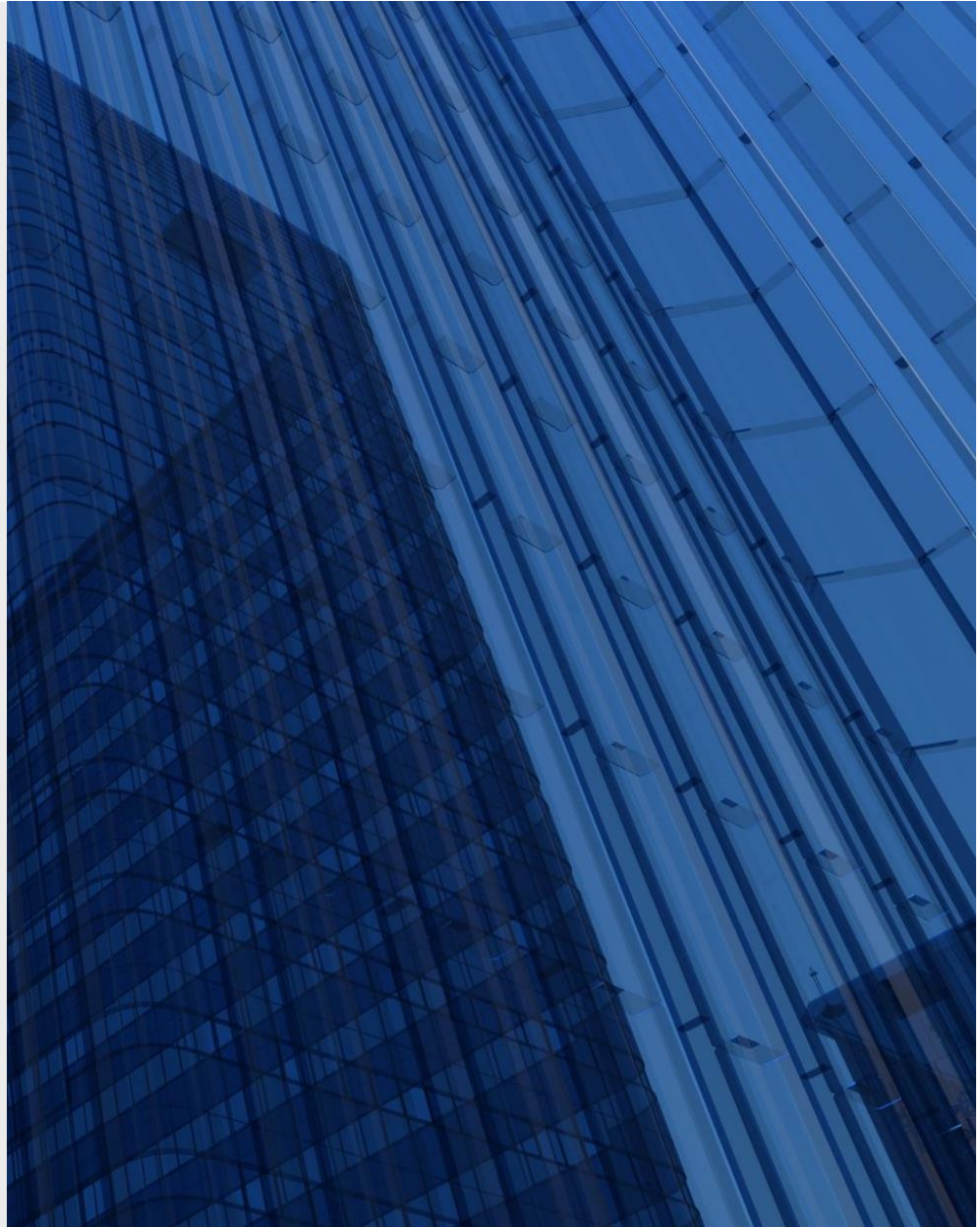
2023年6月

JPR

Independent Research & Advisory

ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社

JPRとは？



JPRとは？

- **日米最大級の投資銀行**出身者が運営、創業20年
- マッキンゼー社のノウハウを活用
- 証券アナリストレポートの提供、中計・統合報告書の作成支援

特徴・効果は？

- **ROIC/WACC**を駆使した定量・定性的かつ体系的な説明
- **金融庁**が求める企業価値の**持続的向上ストーリー**の開示への対応
- 証券アナリストレポートは、グローバルな金融ベンダーで世界へ配信
- **毎月3,800社**のROIC/WACCのデータ分析
- 理論的かつ分かり易い説明による認知度上昇・ストップ高等、株価への波及（「**乾いた薪**」「**疑似中計**」理論）

実績は？

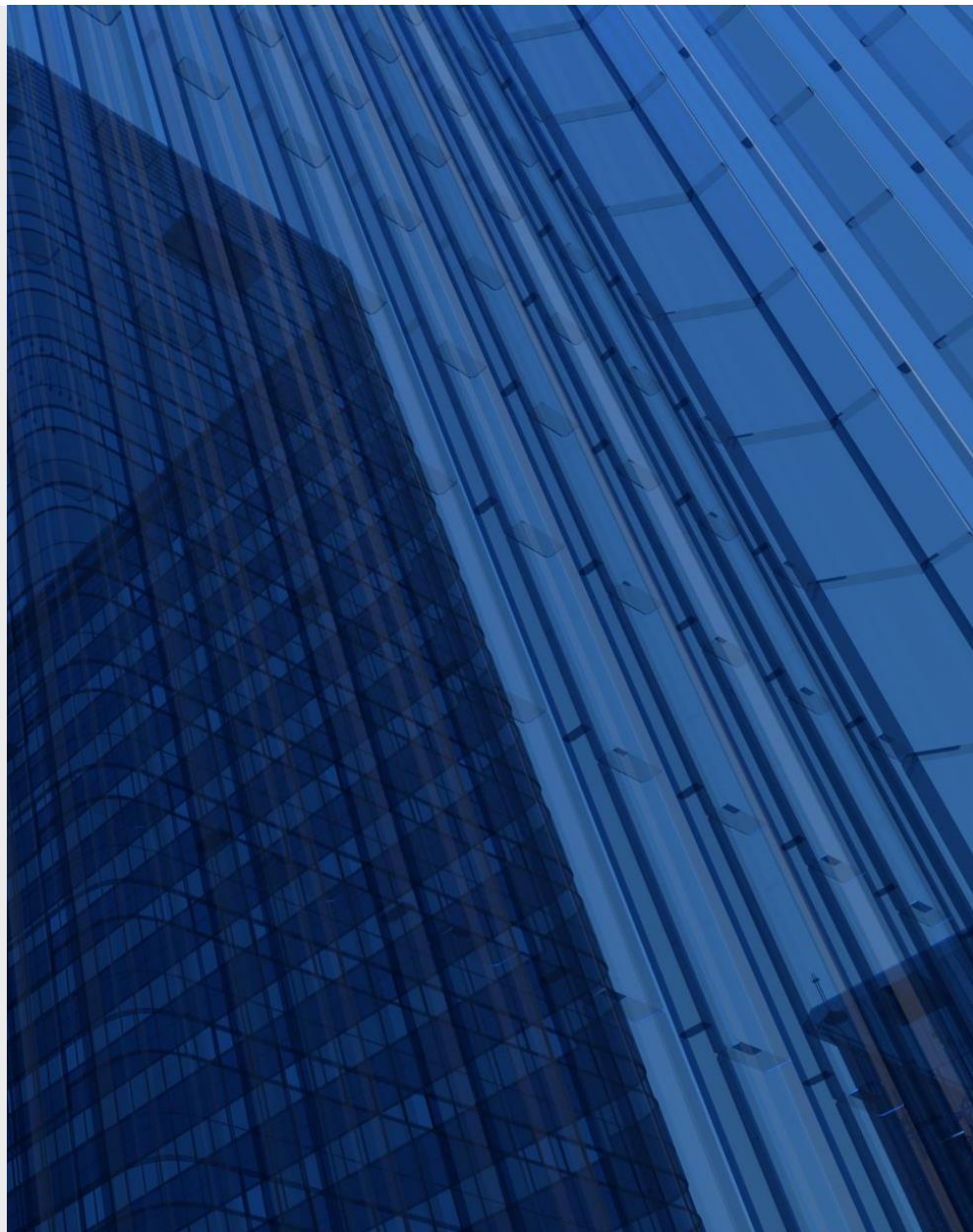
- **花王**様に株主価値経営システムを導入を支援
- PPIHD（旧**ドン・キホーテ**）様の統合報告書作成を支援
- UTグループの**株価10倍**に貢献、その他多数実績

資料作成実績の一部

ジェイフロンティア 車証業種分類: 食料品 2934	日特建設 車証業種分類: 建設業 1929	ジャパンベストレスキュ システム 車証業種分類: サービス業 2453	クオインタムソリューショ ンズ 車証業種分類: 情報・通信業 2338	極東貿易 車証業種分類: 卸売業 8093	ウィルソン・ラーニング ワールドワイド 車証業種分類: サービス業 9610
リニューアブル・ジャパン 車証業種分類: 電気・ガス業 9522	デンヨー 車証業種分類: 電気機器 6517	インパクトホールディン グス 車証業種分類: サービス業 6067	クロス・マーケティング グループ 車証業種分類: 情報・通信業 3675	東京瓦斯 車証業種分類: 電気・ガス業 9531	静岡ガス 車証業種分類: 電気・ガス業 9543
クリングルファーマ 車証業種分類: 医薬品 4884	ITbookホールディングス 車証業種分類: 建設業 1447	サコス株式会社 車証業種分類: サービス業 9641	アステナホールディングス 車証業種分類: 卸売業 8095	ステップ 車証業種分類: サービス業 9795	杉本商事 車証業種分類: 卸売業 9932
エルテス 車証業種分類: 情報・通信業 3967	ベガコーポレーション 車証業種分類: 小売業 3542	シノケングループ 車証業種分類: 不動産業 8909	多摩川HD 車証業種分類: 電気機器 6838	天満屋ストア 車証業種分類: 小売業 9846	札幌臨床検査センター 車証業種分類: サービス業 9776
SANKO MARKETING FOODS 車証業種分類: 2762	タメニー 車証業種分類: サービス業 6181	相模ゴム工業 車証業種分類: 5194	スカラ 車証業種分類: 情報・通信業 4845	サトー商会 車証業種分類: 卸売業 9996	ウィザス 車証業種分類: サービス業 9696
アビリティ 車証業種分類: 情報・通信業 4174	WOW WORLD GROUP 車証業種分類: 情報・通信業 5128	メディカルシステムネット ワーク 車証業種分類: 4350	クイック 車証業種分類: 4318	サクスパー ホールディ ングス 車証業種分類: 小売業 9990	日成ビルド工業 車証業種分類: 建設業 1916
アーキテツ・スタジオ・ ジャパン 車証業種分類: サービス業 6085	WOW WORLD 車証業種分類: 情報・通信業 2352	ソフト99コーポレーショ ン 車証業種分類: 化学 4464	イオレ 車証業種分類: サービス業 2334	やまや 車証業種分類: 小売業 9994	ヨンキュウ 車証業種分類: 卸売業 9955
アルファクス・フード・シ ステム 車証業種分類: 情報・通信業 3814	YU-WA Creation HD 車証業種分類: 小売業 7615	ロゼッタ 車証業種分類: サービス業 6182	FRONTEO 車証業種分類: サービス業 2158	蔵王産業 車証業種分類: 卸売業 9986	バイテックホールディン グス 車証業種分類: 卸売業 9957

その他多数の資料作成実績 : <https://www.j-phoenix.com/reportlist/>

JPRが作成する 証券アナリスト レポートのご紹介



③要素[売上高・ROIC・WACC]に関するアドバイス体系

導入事例：(株)エルテス様



すべての定性・定量
情報を3要素で
ストーリーにし
つながりを可視化



3つの概念で未来ストーリーを可視化し
株主価値をビルトインした構想・計画・実現する

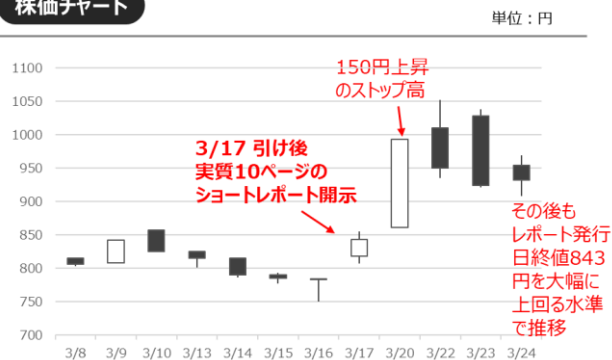
GCC経営™

最新事例：(株)エルテス 3967 2023年3月17日発行レポート抜粋

Growth: デジタルリスクへの戦いにより高成長の機会拡大が本格化へ		
価値観・世界観 デジタルリスク*2に戦い続ける	提供価値・成長性 4-5兆円市場で高成長へ	売上高 CAGR 28.8%が期待
テクノロジー発展の原動力によって生まれるデジタルリスクへの対応を重要な社会課題として認識。課題解決のためにデジタルリスクと戦い、健全なデジタル社会の実現に貢献する。デジタルリスク対策の先駆者の強みを活用し、①デジタルリスク領域のNo.1の企業、②AIセキュリティによる準備業界の変革企業、③行政・企業DX推進のリーディングカンパニーとなる。	①〜③の企業として、合計で4-5兆円の市場をターゲットに、デジタルリスクへの対応のために提供価値として、①デジタルリスクの検知、②デジタルリスク、③スマートシティ・デジタルカンパニーの構築支援、を提供。中期計画「The Road To 2024」を1期として、3年×3期の9年の中期計画で、加速度的な成長サイクルの実現を目指す。	2023.1 2033.1 45億円 ▶ 566億円 内部成長率15%の前提。2024年1月期〜2029年1月期にかけて売上高の10-20%の売上規模を持つ企業を毎年
		成長価値 501億円
Connection: セキュリティー型DXが企業・自治体で本格化		
戦略 高成長が可能な領域に展開	ビジネスモデル 企業・自治体へ多様なサービス提供	ROIC 29%ポイント改善が期待
事業構造を変革し、デジタルリスクとの戦いにおいてエルテスが強みを発揮するDXの推進領域に進出し先駆的立場を確立する。デジタルリスク事業では、No.1企業のポジショニング確立のため、サービスの進化と多様化を図り、AIセキュリティ事業では、デジタル・フィジカル両面での、準備業界の変革をリードする。DX推進事業では、独自の視点で、行政・企業のDX推進を促進する事業を立ち上げる。	①は、24時間365日体制でのリスクモニタリングやコンサルティング、内部育成検知を月額制で提供する。②は、AIやIoTを使った警備・セキュリティ業界のDX推進を行い、リアルな警備事業も運営する。③は、デジタルガバナメント領域での幅広い取り組みを推進し、デジタルPFPI構想により自治体や企業のDX化を促進する。	2023.1 2033.1 11.7% ▶ ##% 規模拡大効果で大幅に拡大。買収は最近の買収のEBITDA倍率で買収できると前提。減価償却10年で推計。
		超過利潤価値 9億円
Confidence: 財務安定性の向上・社会の持続性貢献が本格化		
財務的な持続可能性 デジタルリスク領域で安定基盤確立へ	社会の持続可能性への貢献 デジタルリスクの軽減で大きく貢献	WACC 現状維持
コロナ禍やウクライナ情勢の影響で不透明な状況が続く中、社会全体でデジタル化が進み、主要業のデジタルリスク事業ではKPクライアント数や内部育成検知ID数が増加し、高い成長性と収益性を示している。Growth・Connectionストーリーが実現されれば、デジタルリスク領域の知名度の高いブランドの確立したリーダー企業になる可能性がある。	最先端のテクノロジーを駆使し、イノベーションを生み出し続けることがデジタルリスクと戦い続けるための唯一の手段だと考えるエルテスは、デジタルリスクの軽減により社会の持続可能な発展に貢献する。	6.7% 保守的に現状推計値で維持
		株主資本 23億円

成果

株価チャート



株価

単位：円、株

日付	始値	高値	安値	終値	出来高
3/8	815	815	803	806	7,500
3/9	808	843	808	842	17,500
3/10	857	857	825	825	20,100
3/13	825	825	801	815	12,200
3/14	815	815	786	790	11,300
3/15	790	793	777	785	16,600
3/16	784	784	750	784	22,300
3/17	818	855	807	843	59,600
3/20	861	993	861	993	867,500
3/22	1,010	1,052	935	950	1,174,100
3/23	1,028	1,038	921	924	647,600
3/24	954	969	908	932	183,200

出来高も大幅に増大

※1：投下資本利益率は、英語の略称では、ROICはReturn on Invested Capital

※2：資本コストは、ここでは、WACCは、加重平均資本コスト (Weighted Average Cost of Capital) を用いる。銀行や社債投資家、株主の要求するリターンを推計値

③要素[売上高・ROIC・WACC]に関するアドバイス体系

導入事例：リニューアブル・ジャパン

Yahooニュースで引用された事例

ANALYST NET Company Report
GCC経営分析レポート

リニューアブル・ジャパン株式会社
東証1st 証券コード:9522 2023/6/1

GCC経営分析による4.8倍のアップサイドの可能性
O&M (保守管理) と金融の突出した強みを活かして次なる再生エネルギーの成長企業へ

すべての再生エネルギーの主人公に

O&Mによるコスト削減と金融調達の力でNon-FIT時代の主力

10年成長シナリオ次第で最大アップサイド4.8倍、さらなる上積みも期待される

年度	売上高 (億円)	増減率 (%)	営業利益 (億円)	増減率 (%)	経常利益 (億円)	増減率 (%)	EPS (円)	株価 (円)	PER (倍)
2020年12月期決算	22,276	8.1%	1,673	67.8%	731	131.7%	462	0.9	19.20
2021年12月期決算	15,950	-28.4%	2,229	33.2%	990	35.4%	539	0.1	20.47
2022年12月期決算	17,719	11.1%	1,289	-42.2%	-1,360	-	-52.70	-	1,885
2023年12月期1Q実績	3,171	-	-504	-	-883	-	-609	-	21.19
2023年12月期1Q実績	4,683	47.7%	865	-	627	-	451	-	15.47
2023年12月期決算計画	26,700	50.7%	3,300	155.9%	1,200	-	750	-	25.69

株主価値推計のために設定した3つの定性情報と定量情報の前提*1 (単位: 億円)

Growth: すべての人をエネルギーの主人公に

再生エネルギーの普及と地域への貢献

開発～発電/運営を一気通貫

売上高

CAGR7.0%が期待

FY2023 FY2033

267 ▶ 530

成長価値

1,346

Connection: 再生エネルギーで突出した保守管理能力

戦略

ビジネスモデル

ROIC

O&Mの強みを活かして投資を拡大

低コスト & 高クオリティを実現

1.6ポイント改善が期待

FY2023 FY2033

1.5% ▶ 3.1%

超過利潤価値

-472

Confidence: 金融ノウハウの活用でカーボンニュートラル実現に貢献

財務的な持続可能性

社会的持続可能性への貢献

WACC

低金利の負債を効果的に活用

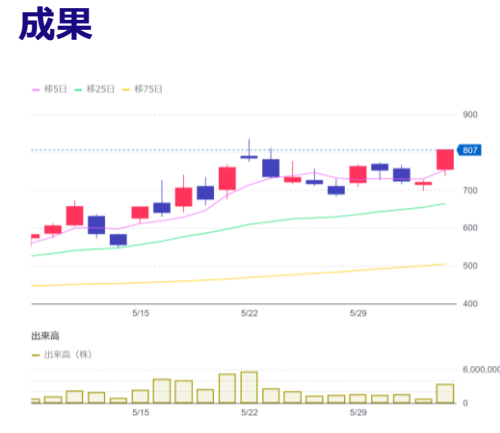
カーボンニュートラル実現の鍵を握る

現状維持

2.2%

株主資本

98



リニューアブル大幅高 JFR社による「株価4.8倍のアップサイドの可能性」レポートが好感か

6/2 11:05 配信

TRADER'S VIEW

現在値

リニューアブル

リニューアブル 9522が大幅高。ジャパンプエニックスリサーチ (JFR) が1日に公開した同社に関するレポートが材料視されているようだ。

レポートでは、同社の再生エネルギー関連事業に関する10年分の成長価値を織り込め、株主価値は972億円、現状の時価総額の約4.8倍 (レポート作成時時価総額690円) に対し、アップサイドポテンシャル3279円) と推計している。

トレーダース・ウェブ

*1: 投下資本利益率は、英語の略称では、ROICはReturn on Invested Capital
*2: 資本コストは、ここでは、WACCは、加重平均資本コスト (Weighted Average Cost of Capital) を用いる。銀行や社債投資家、株主の要求するリターンを推計値

6月発行のレポートはYahoo!ファイナンスで上位ランクイン

アクセスランキング

Daily Weekly **Monthly**

総合 コラム **レポート**

- 
株式会社キャンパス(4575 Growth)
「創業バイブライン型」へのステップ・アップ
ANALYSTNET企業レポート 2023/06/12
- 
ERIホールディングス(6083)の個人投資家向け会社説明会「ERIグループの事業のご紹介」
決算中継「社長のビジョン」 2022/02/25
- 
GCC経営™分析レポート:リニューアブル・ジャパン株式会社(東証グロース 証券コード:9522)
GCC経営™分析による4.8倍のアップサイドの可能性
ANALYSTNET企業レポート 2023/06/01
- 
ABEJA(5574) 人と AI の協調により大企業のコア業務でのAIシステム導入で成長を目指す
ホリスティック企業レポート 2023/06/16
- 
東陽テクニカ(8151)の中間決算は販売が好調で増収、販管費の増加と急峻な為替変動により減益
決算中継「社長のビジョン」 <決算中継> 2023/05/22
- 
ビジョン(9416) グローバルWiFi事業牽引 大幅増収増益
ブリッジレポート 2023/06/01
- 
GCC経営™分析レポート:ジェイフロンティア株式会社(東証グロース 証券コード:2934)
GCC経営™分析による25.9倍のアップサイドの可能性
ANALYSTNET企業レポート 2023/06/05
- 
エフ・コード(9211) DX 化ニーズの高まりを追い風に顧客企業の増加が続く
ホリスティック企業レポート 2023/06/09
- 
セルシード(7776) UpCell®プラスコの収益寄与に注目
ブリッジレポート 2023/06/16
- 
(4592) サンバイオ株式会社 今後のSB623の製造販売承認に期待
ブリッジレポート 2023/01/12

JPR

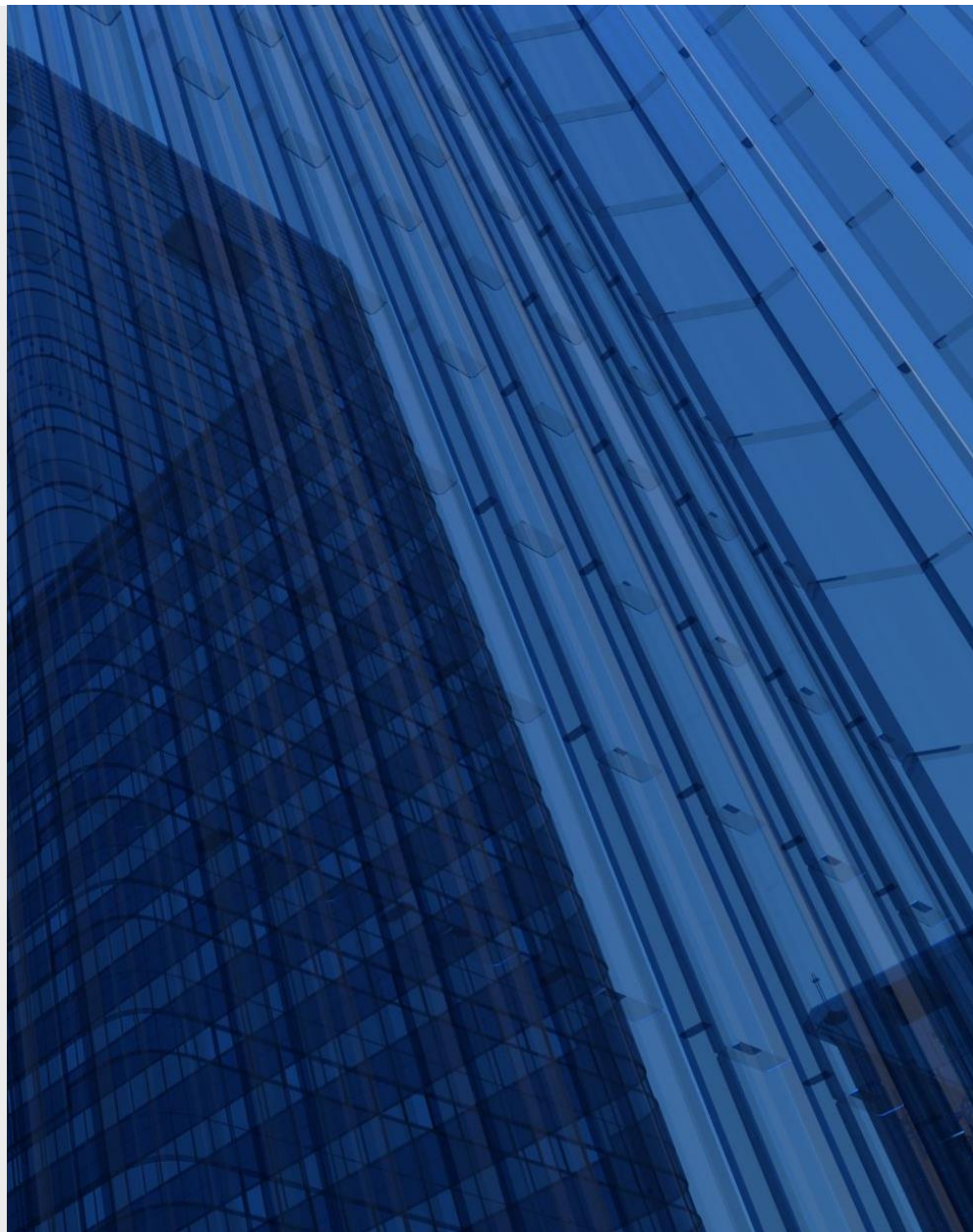
JPR

- 
栄研化学(4549) 尿検査用試薬及び免疫血清検査用試薬伸張
ブリッジレポート 2023/06/08
- 
株式会社リボミック(4591 Growth)
希少疾患:軟骨無形成症(ACH)への期待
ANALYSTNET企業レポート 2023/06/21
- 
GCC経営™分析レポート:日特建設株式会社(東証プライム 証券コード:1929)
GCC経営™分析によるターゲット株価1,688円の1年以内の達成可能性
ANALYSTNET企業レポート 2023/06/02
- 
和田興産(8931) 分譲マンション事業は大幅増収増益
ブリッジレポート 2023/06/25
- 
ダイワボウHD(3107)の通期決算は、ITインフラ流通事業で企業・官公庁を中心に需要を獲得、前期業績に対して大幅な増収増益
決算中継「社長のビジョン」 2023/05/30
- 
Globee(5575) 利益拡大のフェーズに入り、今後はユーザー数増加と利益率改善の度合いに注目
ホリスティック企業レポート 2023/06/19
- 
イーディービー<7794> 新工場建設による種結晶の生産能力拡大によって成長を目指す
ホリスティック企業レポート 2022/07/11
- 
enish(3667) 『ゆるキャン△』初スマホゲームリリースに期待
ブリッジレポート 2023/03/16
- 
Atlas Technologies<9563> 高利益率でストック型に近いビジネスモデルを確立している
ホリスティック企業レポート 2022/11/08
- 
株式会社キャンパス(4575 Growth)
CBP501少なくとも500億円のバイブライン価値
ANALYSTNET企業レポート 2023/03/15

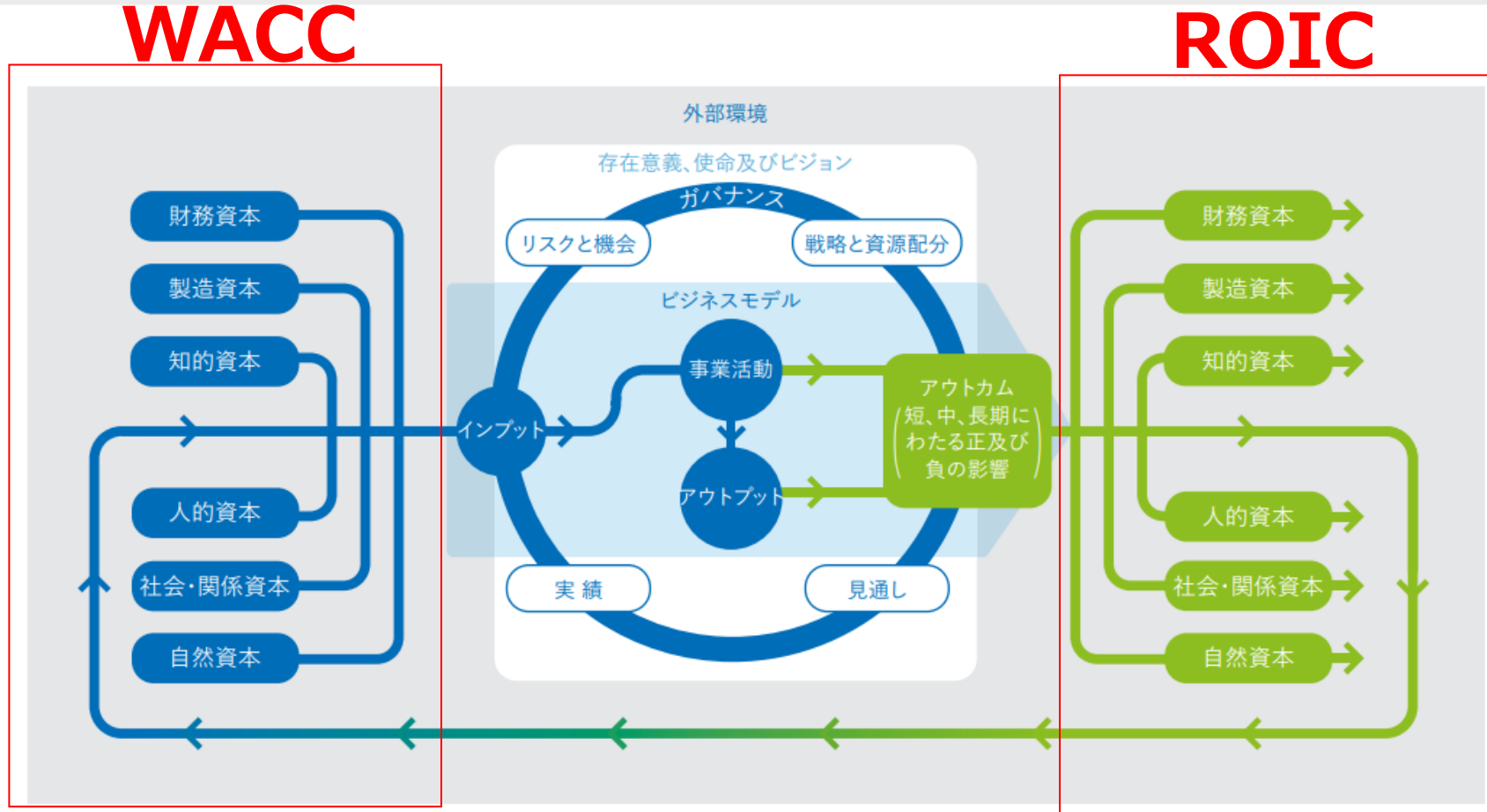
JPR

<https://column.ifis.co.jp/ranking?range=monthly&category=company>

**中期経営計画・
金融庁が推奨する
開示フレームワーク
「国際統合報告書」の
作成のご支援**



国際統合報告書とROIC-WACCの関係



長期にわたる価値の創造、保全又は毀損

国際統合報告評議会

https://www.integratedreporting.org/wp-content/uploads/2021/09/IR-Framework-2021_Japanese-translation.pdf

③要素[売上高・ROIC・WACC]に関するアドバイス体系

ROIC/WACCで各テーマを横ぐしで整理

Growth: デジタルリスクへの戦いにより高成長の機会拡大が本格化へ

価値観・世界観	提供価値・成長性	売上高
デジタルリスク**に戦い続ける	4-5兆円市場で高成長へ	CAGR 28.8%が期待
テクノロジー発展の反動によって生まれるデジタルリスクへの対応を重要な社会課題として認識。課題解決のために「デジタルリスクと戦い続け、健全なデジタル社会の実現に貢献する。デジタルリスク対策の先駆者の強みを活用し、①デジタルリスク領域のNo.1の企業、②AIセキュリティによる警備業界の変革企業、③行政・企業DX推進のリーディングカンパニーとなる。	①~③の企業として、合計で4-5兆円の市場をターゲットに、デジタルリスクへの対応のために提供価値として、①デジタルリスクの検知、②デジタルポリス、③スマートシティ・デジタルカンパニーの構築支援、を提供。中期計画 "The Road To 2024" を1期として、3年×3期の9年の中長期計画で、加速度的な成長サイクルの実現を目指す。	2023.1 2033.1 45 億円 ▶ 566 億円 内部成長率15%の前提。2024年1月期~2029年1月期にかけて売上高の10~20%の売上規模を持つ企業を毎年
		成長価値 501 億円

Connection: セキュリティー体形DXが企業・自治体で本格化

戦略	ビジネスモデル	ROIC
高成長が可能な領域に展開	企業・自治体へ多様なサービス提供	29%ポイント改善が期待
事業構造を変革し、デジタルリスクとの戦いにおいてエッジが強みを発揮するDXの推進領域に進出し先駆的立場を確立する。デジタルリスク事業では、No.1企業のポジション確立のため、サービスの進化と多様化を図り、AIセキュリティ事業では、デジタルとフィジカルの両面で、警備業界の変革をリードする。DX推進事業では、独自の視点で、行政/企業のDX推進を促進する事業を立ち上げる。	①は、24時間365日体制でのリスクモニタリングやコンサルティング、内部脅威検知を月額制で提供する。②は、AIやIoTを使った警備・セキュリティ業界のDX推進を行った、リアルな警備事業も運営する。③は、デジタルガバメント領域での幅広い取り組みを推進し、デジタルPFI構想により自治体や企業のDX化を促進する。	2023.1 2033.1 11.7% ▶ ## % 規模拡大効果で大幅に拡大。買収は最近の買収のEBITDA倍率で買収できると前提。減価償却10年で推計。
		超過利潤価値 9 億円

Confidence: 財務安定性の向上・社会の持続性貢献が本格化

財務的な持続可能性	社会の持続可能性への貢献	WACC
デジタルリスク領域で安定基盤確立へ	デジタルリスクの軽減で大きく貢献	現状維持
コロナ禍やウクライナ情勢の影響で不透明な状況が続く中、社会全体でデジタル化が進み、主業のデジタルリスク事業ではKPIクライアント数や内部脅威検知ID数が増加し、高い成長性と収益性を示している。Growth・Connectionストーリーが実現されれば、デジタルリスク領域の知名度の高いブランドの確立したリーダー企業になる可能性がある。	最先端のテクノロジーを駆使し、インノベーションを生み出し続けることがデジタルリスクと戦い続けるための唯一の手段だと考えるエルトスは、デジタルリスクの軽減により社会の持続可能な発展に貢献する。	6.7 % 保守的に現状推計値で維持
		株主資本 23 億円

Growth: サンプル: 成長に関するワード

価値観・世界観	提供価値・成長性	売上高
xxx	xxx	#VALUE!
人的資本の貢献度を言語化	人的資本の貢献度を言語化	yyyy.m yyyy.m 1000 ▶ 10,000
		成長価値 172

Connection: xxx

戦略	ビジネスモデル	ROIC
xxx	xxx	44.6ポイント改善が期待
人的資本の貢献度を言語化	人的資本の貢献度を言語化	yyyy.m yyyy.m 55.5% ▶ 100.1%
		超過利潤価値 5

Confidence: xxx

財務的な持続可能性	社会の持続可能性への貢献	WACC
xxx	xxx	#VALUE!
人的資本の貢献度を言語化	人的資本の貢献度を言語化	xxx %
		株主資本 8

*1会社ヒアリングに基づいた会社計画以降の推測値を1PRが独自に予想して作成。

※1: 投下資本利益率は、英語の略称では、ROICはReturn on Invested Capital

※2: 資本コストは、ここでは、WACCは、加重平均資本コスト (Weighted Average Cost of Capital) を用いる。銀行や社債投資家、株主の要求するリターンを推計値

③要素[売上高・ROIC・WACC]に関するアドバイス体系

具体的なステップ：12カ月プロジェクト

①長期的な機関投資家の理解と貴社への応用

②GCCの視点で横ぐしで企業価値をデザイン

③マネジメント組織のデザイン

④開示体制デザイン

すべてのステーク ホルダーを幸せに

理論的かつシンプルな可視化で
投資家と企業・他のステークホルダーが
分かり合える世界へ